

# POLE

北海道ポーランド文化協会誌「ポーレ」

第66号 2009.12.30

発行  
北海道ポーランド文化協会  
〒011-0032  
札幌市北区北32条西5丁目2-  
32-902  
佐光伸一  
電話・FAX 011-790-8610

## 私と北海道との出会い

駐日ポーランド共和国大使館一等書記官  
ラドスワフ・テイシキエヴィチ

2009年2月に私は大使館の代表として、日本の最も北に位置した島、北海道を訪れました。これは、日本のこの地域への私の初めての遠征でした。この旅にはいくつかの目的がありました。そのために私は、東京から遠く離れていますが、気候という点でポーランドを思い出させるこの地域のことを詳しく知りたかったのです。2009年はポーランドと日本は外交関係樹立90周年にあたりました。それに関連してこの記念すべき年を記憶にとどめるため多くのイベントが企画されました。そのイベントの大部分が行われたのが東京だったということを考慮すると、日

本のその他の地域でもポーランド、その文化、歴史および伝統を紹介することがとても重要でした。私の課題は、将来、ポーランドと北海道が協力関係を築く可能性を調査することでした。個人的にも私の親友の佐光伸一さんと会うことが楽しみでした。彼とは、まだ私が日本学科の学生

北海道大学にて



だった時に、彼が奨学生としてワルシャワとクラクフに滞在していた時に知り合いました。伸一さんは、北海道ポーランド文化協会のメンバーであり、私の北海道のガイド役であり、この雪に覆われた島の訪問で私をとっても助けてくれました。

北海道と聞き、ポーランドで一番よく思い出されるのは、シベリア送りにされアイヌ民族の研究に携わった民族学者ヴロニスワフ・ピウスツキイであり、1972年札幌での冬季オリンピックでスキージャンプで金メダルを獲得したヴォイチェフ・フォルトウナです。それにポーランド人の多くは札幌で雪祭りが毎年開かれていることも知っており、私も北海道滞在中に見学する機会がありました。雪でできた彫刻、そのいくつかはとても巨大なものでした

し、暖かい雰囲気、郷土料理などが、このユニークなお祭りに忘れがたい印象を与えていました。

私はテレビ局NHKのご好意で、アンジェイ・ワイダの映画「カティンの森」を北海道に持っていくことができました。北海道ポーランド文化協会と北海道在住ポーランド人を対象にした上映会の後、参加者たちと映画そしてカティンの森事件の歴史に関して熱い議論が行われました。日本人はポーランドの歴史と第二次世界大戦へ大きな関心を示していることを認めざるをえません。参加者のひとり、1960年代に出版されたカティンの森事件に関する日本語の書物を持ってきていました。1960年代といえればポーランドではまだこの話題に触れた出版物は皆無でした。

ポーランドを紹介するため、北海道大学のスラブ研究センター（ロシアと中欧・東欧ヨーロッパの研究に携わる学術機関）で「ポーランド—国際舞台の活発なプレーヤー—」という講演を行い、さらにTV局のNHK札幌と北海道新聞といった地域メディアの代表者たちとも会う機会に恵まれました。

在札ポーランド人と北大学食にて



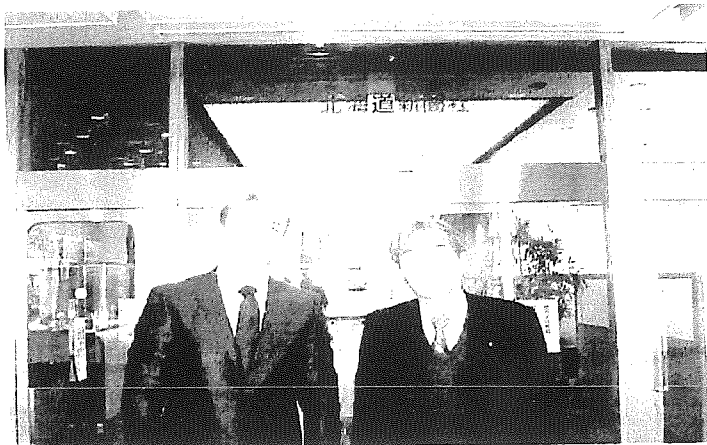
北海道に住むポーランド人の代表者たちの北海道大学で一緒に学食のランチを食べたことはいい思い出です。北海道に住むポーランド人は数こそ少ないですが、固く団結しひとつにまとまっています（彼らの大部分は大学の職員であったり、奨学生であったり、日本人と結婚してここに滞在しています）。

最後の日には、伸一さんのおかげで旭川の有名な旭山動物園を訪れ、ペンギンのパレードを見たり魅力的な白熊のカップルを見たりし、有名な男山酒造の工場を見学することができました。

短期間でしたが非常に密度の濃い北海道での滞在のおかげで、この日本の魅力的な辺境の地を知るきっかけを得ました。来年にはもう一度北海道に戻ってくるつもりです。それは札幌で「ポーランドの

日」というイベントを催し、ポーランドを再び紹介するためです。このイベントでは北海道のみなさんにポーランドとその文化をもっとたくさん知っていただけることになると思います。それでは来年またお会いしましょう。

北海道のジャーナリストと



# 「ポーランド・in・北海道」開催!

大使館のラデック・テイシキエヴィチさんのエッセイにもあったように来年、ポーランド大使ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使を北海道にお招きし、「ポーランドの日々・ヨ・北海道」というタイトルで、ポーランドを北海道で広く深く紹介するためのイベントが開催されます。

イベントは、政治、経済、文化など多岐にわたっていますが、当協会では、ピアノコンサート、映画上映会、大使の講演会などを予定しています。現段階で決まっているプログラムは下記の通りです。詳細決定しましたら、会員の皆様にもう一度ご案内をお送

りいたします。シヨパン生誕200年を記念して、雪祭りでのシヨパン像の制作、シヨパンコンサートの開催なども行いますので、皆様のご参加お待ちしております。

「ポーランド・ヨ・北海道」  
2010年2月5日・7日

プログラム(予定)

2月5日(金)

・ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使による、高橋はるみ北海道知事への表敬訪問

・ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使による、上田文雄札幌市長への表敬訪問

・NHKテレビおよび北海道新聞によるヤドヴィガ・ロド

ヴィッチ大使へのインタビュー

「ポーランドのタベ」シエラトン札幌ホテルにて

\* シヨパン・プログラムによるピアノ・リサイタル

\* ポーランド料理の試食会

\* お楽しみ抽選会

2月6日(土)

・ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使による第61回札幌雪祭り見学

\* ポーランド・ファッション・ショー

\* ポーランドの琥珀アクセサリ、食品ブース

\* フリデリック・シヨパンの雪像

・ポーランドへの観光プロモーション・イベント

・シヨパン・プログラムによるピアノ・リサイタル、ザ・ルーテル・ホールにて

・ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使によるポーランド文化についての講義、北海道ポーランド文化協会主催

・ポーランド映画「ニキフォル 知られざる天才画家の肖像」(クシシュトフ・クラウゼ監督)上映会 シアターキノにて

## 第二十四回総会および懇親会のご報告

寒さの厳しい折、会員の皆様につきましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会の活動にご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて第二十四回総会・懇親会につきましては、会員十五名、在札幌ポーランド人およびその家族約二十名のご出席をいただき、十一月二十七日におこなわれましたことをここに報告させていただきます。

今回の総会では、下記の総会では主に下記の議題が話し合われ、併せて承認されました。

1. 2010年2月5日から6日に開催予定の大使館との共催のイベントについて。

2. 2010年6月予定のピアノコンサートについて。
3. 役員改選、および「ピアノコンサート企画委員」を「演奏会部門」と名称変更。

2010年はショパン生誕200周年にあたります。

ポーランド国内だけでなく、日本でもそれに関連した多くの催しが行われます。当協会は音楽活動が大きな柱の1つとなつていきますので、2月の大使館との共催イベントの際、さらに6月と2度のコンサートを企画しています。会員の皆様に喜んでいただける活動を考えていきたい、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

どうぞ今後ともよろしく  
お願いいたします。

2009年度北海道ポーランド文化協会第24回  
総会

2009年11月27日  
(金)午後7時より

かでの2・7 (中央区北2条  
西7丁目) 940会議室 (1  
0階)

### 懇親会

開会挨拶と乾杯  
会食  
閉会の挨拶  
乾杯 StoLat

### 総会

開会のあいさつ

### 議事

I 2009年度事業および決算報告、監査報告

II 2010年度事業計画(案)と予算(案)について

III 2010年度役員について

IV その他

2009年度の主な活動は以下の通りです。

1. 《主催事業》

1) 第54回例会「アンジェイ・ワイダ 上映会」

(2009年2月7日 かでる2・7 540研修室)

冒頭のエッセイにもあるように、駐日ポーランド共和国大使館から二等書記官(当時)ラドスワフ・ティシキエヴィチさんをお迎えし、アンジェイ・ワイダの傑作『カティンの森』を観賞し、作品終了後、映画について活発な議論を行いました。

2) 「ピアノコンサート」 ショパン、リヤードフなど

を中心に」

(2009年5月29日 札幌 サンプラザコンサートホール)

昨年の創立20周年コンサートに続き、今年は札幌サンプラザでショパン、シマノフスキ、リヤードフなど、ポーランド人作曲家、ポーランドにゆかりのある作曲家を中心にしたコンサートを催しました。歌曲も取りあげるなど意欲的なコンサートとなり、会員の皆様だけでなく、札幌の熱心な音楽ファンの方々にも多数会場に足を運んでいただきました。

2. 《ポレ発行》

第64号(2009年3月1日)、第65号(2009年8月27日)

3. 《第23回総会》

2008年11月28日 かでる2・7 1050会議室

2010年度事業計画

2010年度は以下の活動を予定しています。

1. 《主催事業》

・大使館との共催イベント(2月5日、6日)

コンサート、映画上映会、大使による講演会を予定。本紙の特集記事を参照。

・ピアノコンサート(6月頃)

ショパン生誕200周年にふさわしいものにすべく、現在、演奏部会の方で準備中です。詳しい内容が決まりましたら、後日ご報告いたします。

2. 《ポレ発行》 年3回

みなさまからの投稿をお待ち

しております。執筆希望の方は、事務局、佐光まで (Tel/Fax011-790-8610、E-mail ssamitsu@hotmail.com)

3. 《第25回総会》 2010年10月頃

4. 《運営委員会》必要に応じて随時開催

2010年度役員

2010年度は以下の方々に役員をお願いし、ご了承をいただきました。

会長・安藤厚  
副会長・小笠原正明  
顧問・遠藤道子  
運営委員・安藤むつみ・薄井豊美・小笠原正明・栗原朋友子・柏木由美子・越野剛・小林暁子・小林美保・齋田道子・佐々木保子・佐光伸一

会長・安藤厚  
副会長・小笠原正明  
顧問・遠藤道子  
運営委員・安藤むつみ・薄井豊美・小笠原正明・栗原朋友子・柏木由美子・越野剛・小林暁子・小林美保・齋田道子・佐々木保子・佐光伸一

霜田千代麿・高橋健一郎・富山信夫・中島洋・鳴神雅史・灰谷洋子・渡辺卓・ラファウ・ジェプカ  
 ポーレ編集委員・氏間多伊子・越野剛・小林美保・栗原朋友子・佐光伸一・鳴神雅史・ラファウ・ジェプカ  
 演奏会部門・安藤むつみ・薄井豊美・小林美保・高島真知子・本田真紀子・名取百合子  
 監査委員・栗原成郎、吉野悦雄  
 事務局長・佐光伸一  
 事務局委員・ラファウ・ジェプカ

2009年度会計決算書（自2008年10月1日～至2009年9月30日）

【収入の部】	予 算	収支・支出済み	内 訳	単位：
会 費	150,000	213,480	全額の70%	
その他	0	0		
小 計	150,000	213,480		
繰越金	121,604	121,604		
合 計	271,604	335,084		

【支出の部】	予 算	収支・支出済み	内 訳
事業費	100,000	14,850	例会、総会
連絡費	60,000	43,090	ポーレ発送、はがき・切手他
編集費	30,000	26,796	ポーレ制作費、文房具等
会合費	10,000	7,556	コンサート委員会会合費
事務費	10,000	10,000	人件費
予備費	20,000	226	
小 計	230,000	102,518	
繰越金	41,604	232,566	
合 計	271,604	335,084	

会費の納入はお済みですか？

2010年度（2009年10月～2010年9月分）

当会は、皆様からの年会費によって運営されています。  
 上記の年度分の会費の納入を宜しくお願いいたします。

「ポーレ」編集委員会

氏間多伊子・越野剛・小林美保・佐光伸一

鳴神雅史・ラファウ・ジェプカ

Tel/Fax 011-790-8610

〔連絡先〕 佐光

《郵便振替口座》

02740 - 5 - 19735

北海道ポーランド文化協会

普通会員（年 額） 3,000円

維持会員（年額1口） 5,000円

学生会員（年 額） 1,500円

《会費振込銀行口座》

北洋銀行 大通支店

（普） 301-0605084

北海道ポーランド文化協会

事務局長佐光伸一

北海道ポーランド文化協会会誌

POLE 第 66 号 (2009 年 12 月)

**目 次**

駐日ポーランド共和国大使館一等書記官ラドスワフ・ティシキエヴィチ「私と北海道との 出会い」 .....	1
「ポーランド in 北海道」開催！ [2010.2.5-7] .....	3
[第 23 回 2009-2010 年度] 総会および懇親会のご報告 [2009.11.27] / 2009 年度の主な活動 / 2010 年度事業計画 / 2010 年度役員 / 2009 年度会計決算書 .....	4